Chuo Nittochi
中央日本土地建物グループ

Moving!

長期ビジョン2030 ・中期経営計画の進捗

2026.06
中央日本土地建物グループ株式会社

長期ビジョン2030と中期経営計画

Moving!

Chuo Nittochi
中央日本土地建物グループ

長期ビジョン2030

（2020年4月に策定）

定性ビジョン　変化の潮流に挑戦し、期待を超える価値を共創する総合不動産グループ

定量ビジョン　経常利益 300億円

基本方針

1. グループブランド及びカルチャーの確立
2. 収益力強化と事業ポートフォリオの整備・拡充
3. 経営基盤強化

中期経営計画

1st Stage
2022年3月期～2024年3月期
統合ベースでの
事業基盤強化と
成長投資

2nd Stage
2025年3月期～2027年3月期
更なる成長に向けた
「事業基盤強化」と
「ブランド価値向上」

3rd Stage
2028年3月期～2030年3月期
収益実現による
成長加速

中期経営計画2nd Stage
スローガン

Moving!

- **Move-1** 事業基盤の更なる強化と成長の加速
- **Move-2** サステナビリティ経営の進化
- **Move-3** 経営基盤の強化
- **Move-4** 新たな価値創造への挑戦
- **Move-5** グループブランドの創造

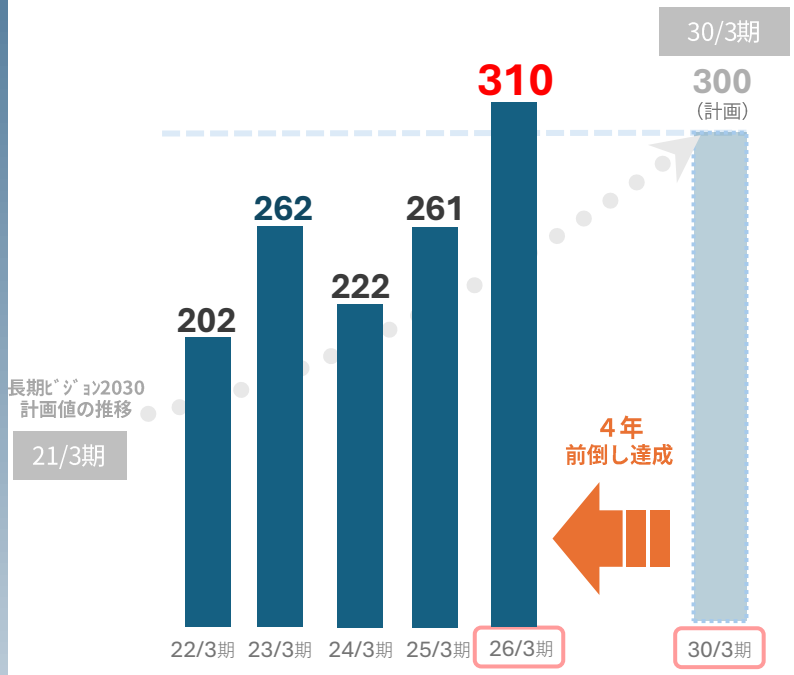
2027年3月期は
次期長期ビジョンの
土台を築く一年

長期ビジョン2030の“経常利益 300億円”を前倒しで達成

- ✓ 26年3月期、経常利益は310億円で**過去最高益を更新**
- ✓ 財務指標は前年比良化、成長投資と財務基盤強化を両立

■経常利益の推移

単位：億円



■財務指標の実績推移

	24/3期	25/3期	26/3期
経常利益	222億円	261億円	**310億円**
EBITDA有利子負債倍率	18.3倍	17.2倍	**15.9倍**
ROA	2.1%	2.4%	**2.5%**

Moving! Chuo Nittochi 中央日本土地建物グループ

都市開発事業

「淀屋橋ステーションワン」「中央日土地博多駅前ビル」「ミタマチテラス」「REVZO新橋」をはじめとする多数のオフィスビルや物流施設が竣工・運用開始。好調なリーシングを背景に、賃貸収入は計画を上回る水準で推移。

Nacasa&PartnersInc_NAKAMICHI Atsushi

LOGIWITH厚木

SENQ淀屋橋

淀屋橋ステーションワン

中央日土地博多駅前ビル

REVZO新橋

2023 5 6 7 8 9 10 11 12

2024 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

2025 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12

2026 1 2 3 4 5

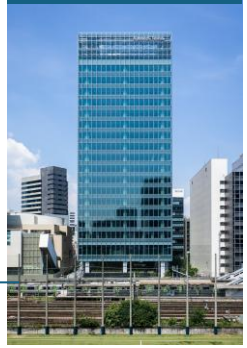
一宮物流センターII

LOGIWITH八王子

REVZO麹町

SENQ田町

ミタマチテラス



Glamtree Kitasando

SS Co., Ltd. Naohiro Ogura

賃貸事業

空室率を1%前後の低水準を維持するとともに、環境を踏まえた賃料の適正化は順調に進展。マーケットを捉えたポートフォリオの適切な入れ替えにより収益力を強化。

主な保有物件

京橋エドグラン

延床面積 約113,400㎡※歴史的建築物含まず
竣工年 2016年

仙台ファーストタワー

延床面積 約29,300㎡
竣工年 2007年

大崎ウィズタワー

延床面積 約58,400㎡
竣工年 2014年

新丸の内センタービルディング／丸の内センタービルディング

新丸の内センタービルディング 延床面積 約45,600㎡ 竣工年 2004年
丸の内センタービルディング 延床面積 約64,100㎡ 竣工年 1984年

展開するブランド

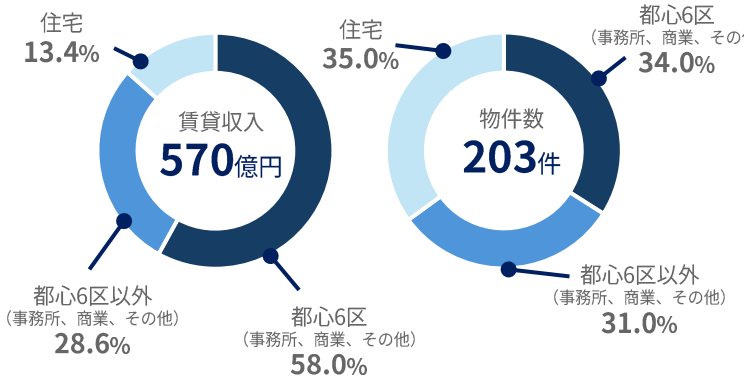
SENQ（センク）
スタートアップ、地方公共団体など多様な業界から先駆者が集まり、オープンイノベーションを加速させる協業と共創の場

LOGIWITH（ロジウィズ）
テナントのニーズに寄り添った施設計画・運用により、商品を「送る人、届ける人、受ける人」の三方良しを実現

REVZO（レブゾ）
“「はたらく」を解き放つ”をコンセプトに、オフィスワーカーが自分らしく、いきいきと働ける環境を実現するオフィスブランド

保有物件数および賃料収入の割合

賃貸事業ポートフォリオの状況※（2026年3月末時点）



※中央日本土地建物ベース

住宅事業

「バウス氷川台」「バウス鷺沼Hills」「バウス板橋大山」など複数の分譲マンションが竣工・完売。その他の物件の販売も順調に進捗し、利益は計画を上回る水準で推移。26年3月期の供給戸数は500戸を突破。

バウス氷川台

年間供給戸数の推移（引渡しベース）

24年3月期	25年3月期	26年3月期
489戸	→ 418戸	→ 523戸

「BAUS」ブランディング強化により認知度向上

24年3月期	25年3月期	26年3月期
24.7%	→ 27.7%	→ 28.4%

出典：日本経済新聞「マンションブランドアンケート」（対象：首都圏全世代）

バウス鷺沼Hills

バウス板橋大山

海外事業

賃貸住宅・物流施設など北米を中心とした新規投資の着実な進展により、収益化に向けた基盤整備が進行。

累計投資額

〔2026年3月期〕
約3億米ドル

累計投資件数

〔2026年3月期〕
19件

2024年
米国現地法人事務所開設
Chuo-Nittochi America Corporation

Projects Announced in FY2026

Sloan & Fisher
（物流施設／ノースラスベガス）

Potomac Shores
（賃貸住宅／ワシントンD.C.近郊）

The Arden
（賃貸住宅／ロングアイランド近郊）

RENDER Tucker
（賃貸住宅／アトランタ近郊）

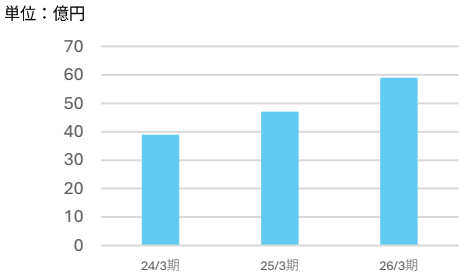
AVE HORSHAM
（賃貸住宅／フィラデルフィア近郊）

AXIAL
（物流施設／ノースカロライナ近郊）

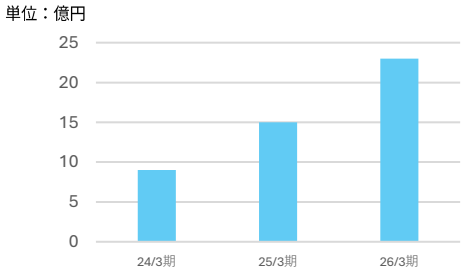
不動産ソリューション事業

案件創出に向けた施策は着実に進捗。ターゲット戦略の推進により、再販物件の仕入・販売はともに好調に推移し、収益向上に貢献したほか、多数のCRE戦略支援プロジェクトも推進。

売買仲介手数料



買取再販事業の実績



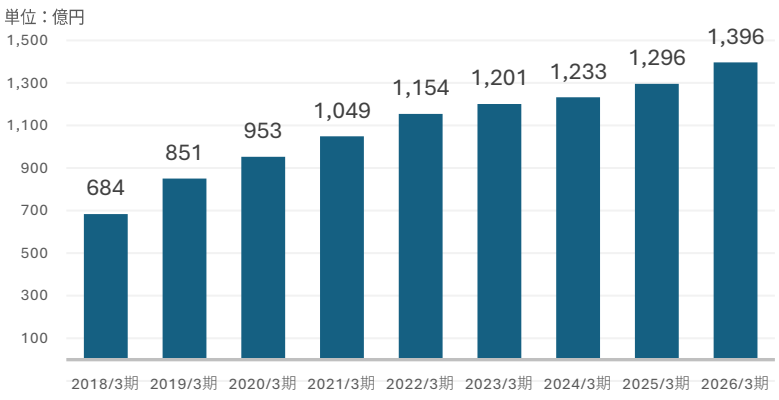
プロジェクトマネジメントを手掛けたJAF札幌北基地

資産運用事業

私募リート(CNPR)では、JCRの外部格付がAAーに1ノッチ引上げ。また増資を実施し、AUMは1,400億円規模に拡大。ファンド事業では、個人投資家向け不動産ST（セキュリティ・トークン）ファンドなど多様な投資家向けに新規ファンド組成。

個人投資家向け不動産STファンドの裏付け資産とした「BAUS CROSS」2物件

CNPR運用資産残高推移



建設事業

現場サポート部門の機能強化による法令遵守、安全・品質・CS重視の現場運営高度化の取り組みを継続するとともに、電子契約の導入等で組織・業務基盤整備は着実に進捗。

オフィス入退去工事事例／磯村ビル

修繕・リニューアル工事事例／日新西北ビル

ゴルフ事業

コースおよびクラブハウス設備のリニューアルや、スタッフの健康・環境保全に配慮した取り組みを推進。
レイクウッドゴルフクラブにおける新規会員権数は好調に推移。

レイクウッドゴルフクラブ

展開するゴルフ場での主な取り組み

熱中症対策としてファン付き空調服をキャディに支給

リチウムイオンバッテリーで稼働するカート

女子プロゴルフ選手と所属契約

女子プロゴルファー髙木優奈選手と所属契約を締結
2025年の日本選手権では4位入賞

TOPIC①：ダイヤモンド社「接待に適しているゴルフ場ランキング」2年連続1位を獲得
TOPIC②：神奈川県の「かながわSDGsパートナー」に登録